

令和5年度  
第4回 台東区区政サポーター  
アンケート調査 報告書

「キャッシュレス決済について」

「生涯学習について」

「都市交流について」

台東区 総務部 広報課

# 令和5年度 第4回 台東区区政サポーターアンケート

## 区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。

任 期：2年（令和5年4月1日～令和7年3月31日）

## 目 的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

## 内 容

- (1) キャッシュレス決済について
- (2) 生涯学習について
- (3) 都市交流について

## 調査概要

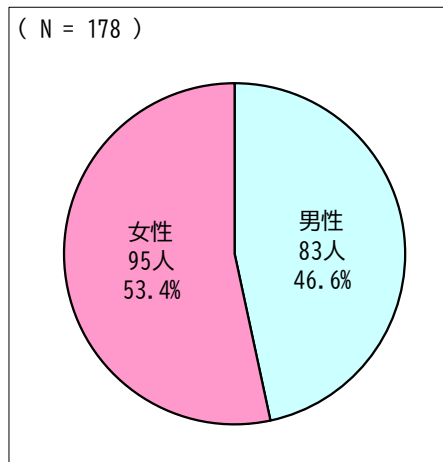
調査期間 令和5年12月7日（木）～12月19日（火）

対 象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター61名、Eメールサポーター139名）

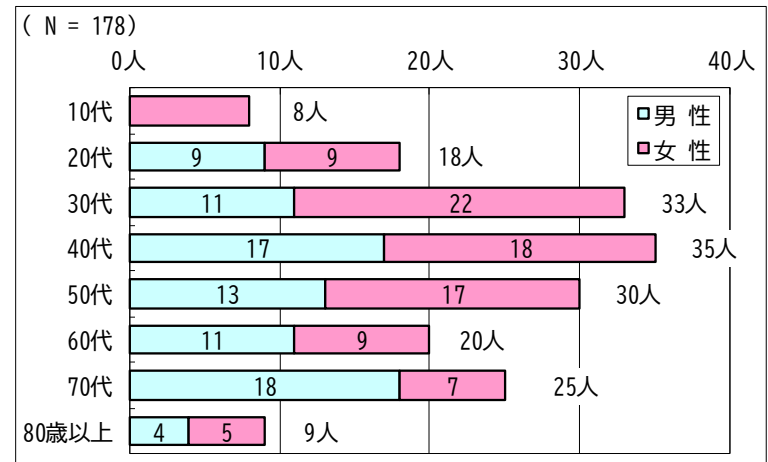
有効回収数 178名（郵便57名、Eメール121名） 有効回収率89.0%

## 回答者の属性

### 性別



### 年代別



### 地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男性	3人	6人	6人	14人	9人	3人
女性	4人	1人	4人	10人	12人	4人
計	7人	7人	10人	24人	21人	7人
地区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男性	8人	10人	7人	10人	7人	83人
女性	8人	13人	14人	14人	11人	95人
計	16人	23人	21人	24人	18人	178人

### 職業別

職業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人数	25人	73人	30人	14人	25人	11人	178人

# 目 次

## I 調査結果の分析

「キャッシュレス決済について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

「生涯学習について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

「都市交流について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

## II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

### 報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。  
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。  
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

## I 調査結果の分析

### 【キャッシュレス決済について】

キャッシュレス決済については、9割以上の方が「利用している」と回答しており、そのうち、「QRコードのスマートフォン決済」を利用している、又は、今後利用してみたい決済方法として回答した方は6割以上でした。これは、令和元年度の調査時から3割以上増加しており、QRコード決済の普及が進んでいることがわかりました。

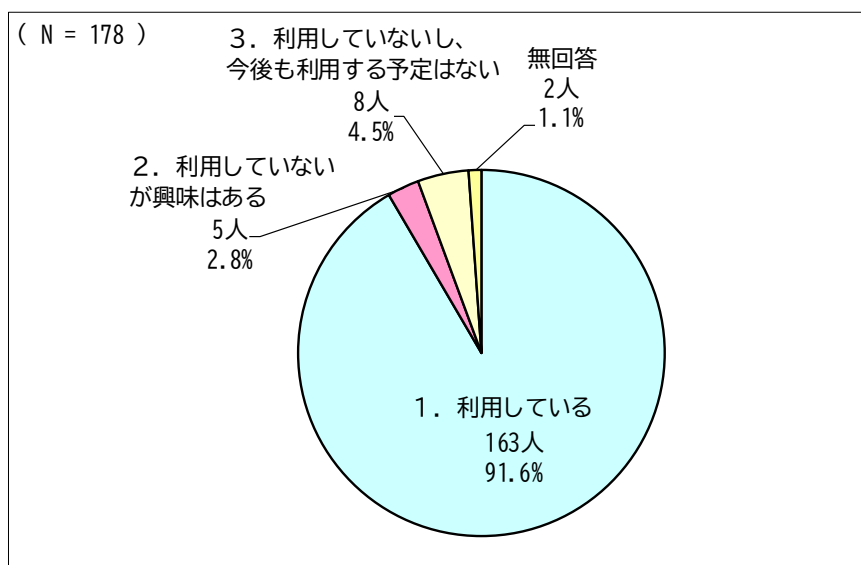
一方で、利用したことがない理由として、「クレジットカードやスマートフォンの紛失、盗難、個人情報の漏洩が心配だから」と回答した方が最も多い結果となりました。

今回の調査結果を踏まえて、区内事業者及び消費者の利便性向上につながるよう、引き続きキャッシュレス決済の普及を推進してまいります。

(文化産業観光部 産業振興課)

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

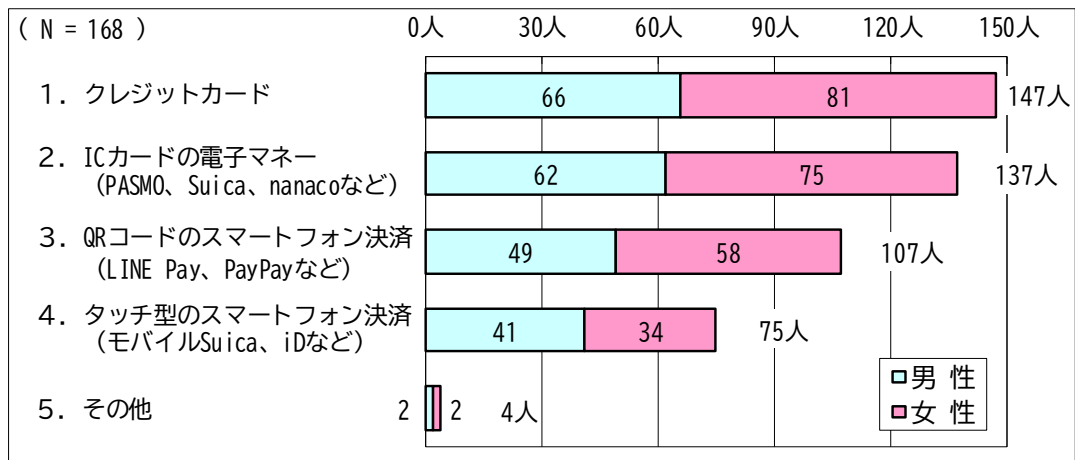
**設問1**：日々の生活の中で、クレジットカードや電子マネーなどの現金以外の決済方法を利用していますか。



**設問2**：設問1で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

現在利用している、又は、今後利用してみたい決済方法は何ですか。

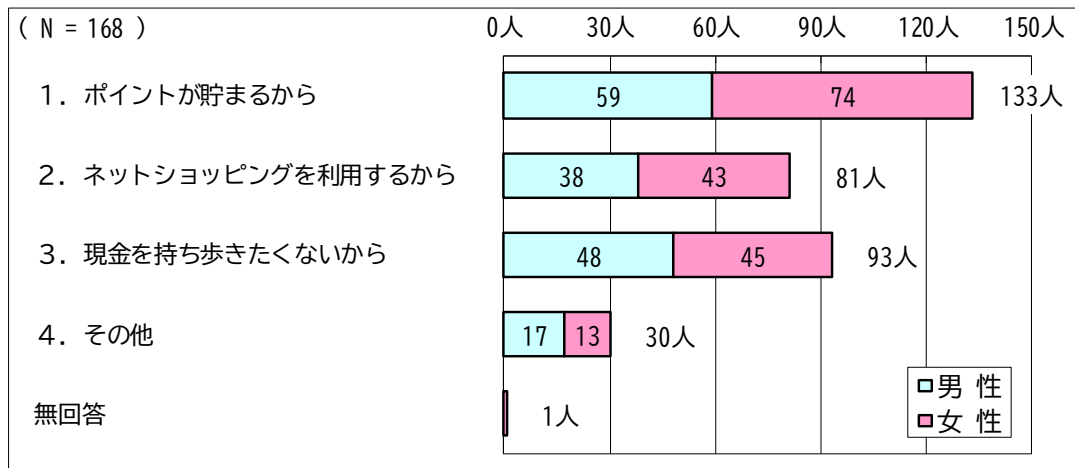
(複数回答可)



**設問3**：設問1で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

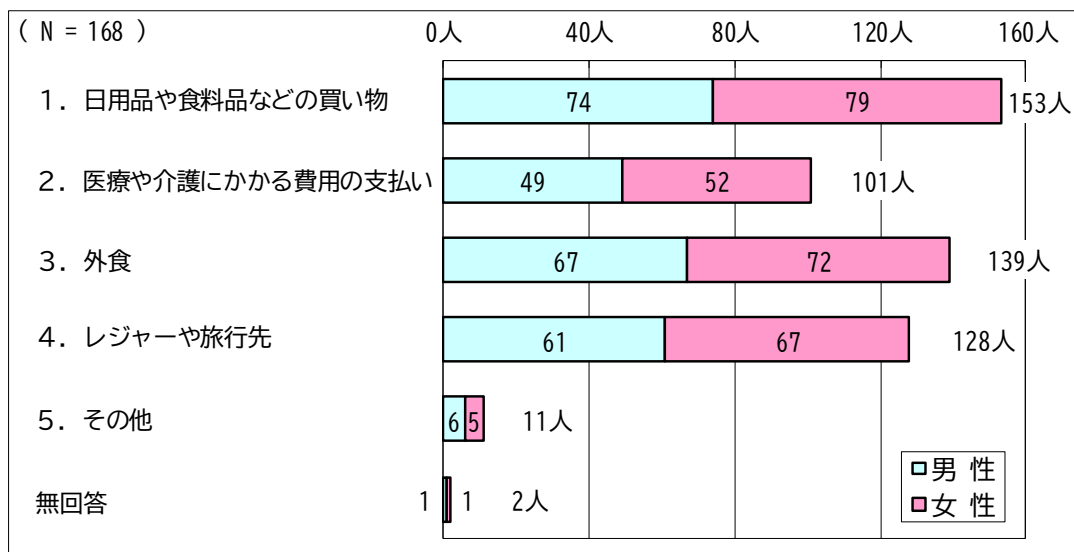
キャッシュレス決済を利用している、又は、利用したい理由は何ですか。

(複数回答可)



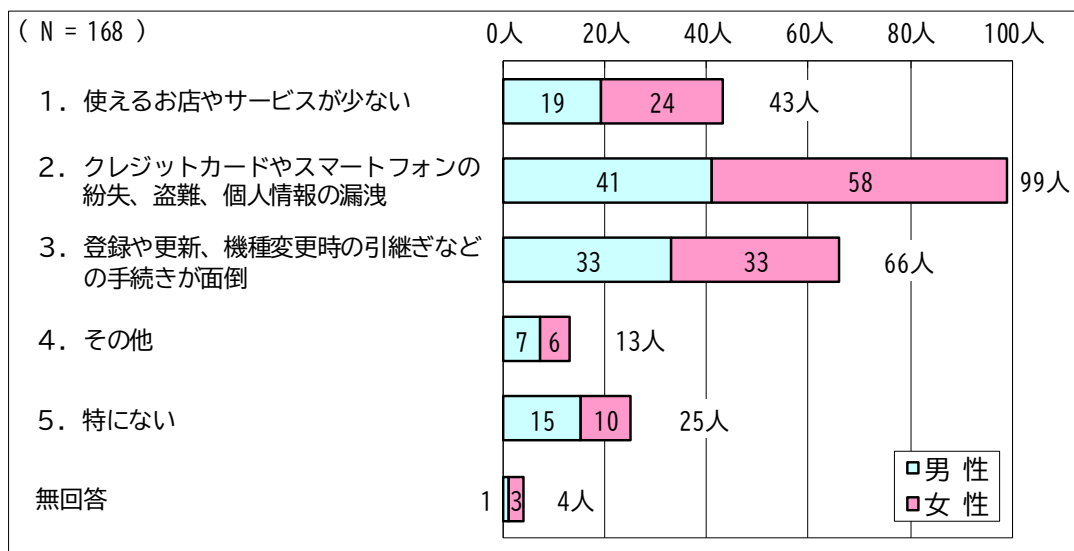
**設問4**：設問1で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

キャッシュレス決済を利用している、又は、利用したいと思うのは、どのような場面ですか。（複数回答可）



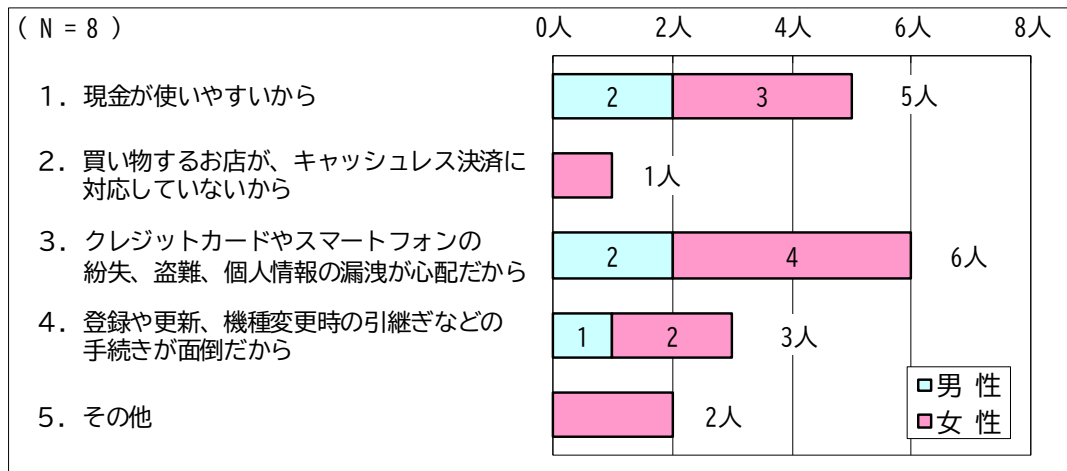
**設問5**：設問1で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

キャッシュレス決済を利用するにあたり不安や課題を感じることはありますか。（複数回答可）



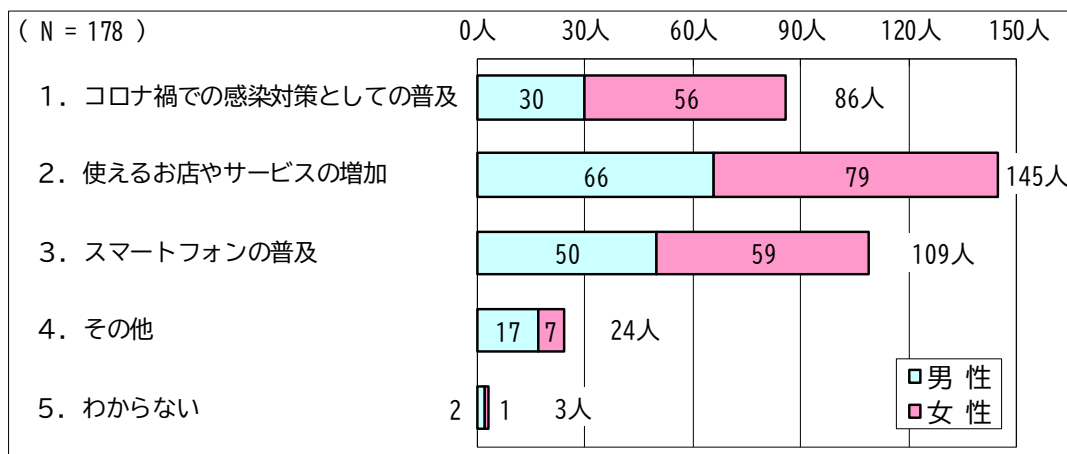
**設問6**：設問1で選択肢3「利用していないし、今後も利用する予定はない」を選択した方にお伺いします。

キャッシュレス決済を利用しない理由は何ですか。（複数回答可）



**設問7**：国は、2025年までにキャッシュレス化を40%程度とする目標を掲げており、2022年時点で36.0%まで達しています。

キャッシュレス化が進んだ要因は何だと思いますか。（複数回答可）



**設問8**：キャッシュレス化について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・クレジットカードは業者による保険適用など、補償がある程度充実しているので、過剰にセキュリティを不安視すべきではない。
- ・メインとしたい決済方法があるのに、よく行くお店は違う決済方法しか使えないという状況が結構あり、結局どちらにもチャージをしなければならないので、お金が分散するのが今一番の悩みだ。
- ・スマホがあることが大前提となっていることが多い。スマホを持つためには、新品ならば何万円も機種代金を払わなくてはならず、月々の使用料もかかるので、キャッシュレス決済をするためのハードルが高い。
- ・現金に慣れているので、少し不便に感じる。
- ・キャッシュレス化は賛成だが、高齢者や年少者などには選択肢を与える上で、極端な推進は逆効果だと思う。
- ・とても便利に利用しているが、カードのみに頼るのは、カードを紛失する可能性もあるため心配だ。
- ・キャッシュレス化が進んでいて消費者としてはありがたい。個人経営の飲食店等ではまだ現金のみの店舗があるが、手数料負担等の面から難しいため仕方ないと思っている。
- ・お金を下ろすのが面倒になった。
- ・年配の人など、スマホの操作自体を難しいと感じている人がいる。そのような人にも優しい仕組みが必要だと思う。
- ・お金を出す時にもたもたするタイプなので、キャッシュレス決済には助かっている。一方で、現金と違って使う時に足りなくてもすぐにチャージできるため、つい使いすぎてしまうことがあるので気をつけたい。
- ・国内外問わず観光客が簡単に決済できる選択肢が増えるのは、地域にとっても良いことだと思う。



- ・利用できる場所を増やしてほしい。特に医療機関はキャッシュレス化が遅れている印象がある。
- ・災害時にキャッシュレスのシステムが使用できなくなるのではないかと心配だ。
- ・現金を使う大切さも考えてほしい。現金を使うことでお金の大切さを実感できる。
- ・キャッシュレス化になって便利になった部分は多いが、スーパーやコンビニで、セルフレジが増えて面倒に感じることもある。キャッシュレスについて明るくない人には負担も大きいという側面がある。
- ・キャッシュレス化の利便性はありがたいが、クレジットカードは紛失時の懸念があり、スマホ決済は口座情報の漏洩などの心配が払拭できないでいる。
- ・キャッシュレス使用ができるか否かの情報をもっとわかりやすくしてほしい。
- ・スーパーや薬局などの実店舗やネットショッピングで利用している。使い慣れればとても便利に感じている。
- ・キャッシュレス化は経済活動や行政サービス向上に欠かせないが、活用によるリスク低減と活用のために支援を必要とする人々へのサポートを強化する必要があると思う。
- ・キャッシュレス化が進みすぎて、子供たちがお金を「お金」と思わず使ってしまうことがあり、心配している。家での教育はもちろんだが、学校や区などで、賢いキャッシュレスとのつきあい方を教える機会があると助かる。
- ・現金がなくてもほしいものが手に入るので、身の丈に合った使い方をしないと困ったことになる。
- ・コロナ禍で現金をできるだけ扱わないようにするために使い始めたが、レジでの時間短縮等、良かったと思う。

## 【生涯学習について】

今回の調査では、自身の知識や経験を地域活動に「活用したい」と回答された方が7割以上の一方で、地域のサークルやクラブなどで現在活動している方は約2割という結果となりました。また、過去1年間に生涯学習をしなかった理由として「仕事で時間がない」「きっかけがない」との回答が多いことから、時間を選ばずに学習できる機会や、学びのきっかけとなる講座やその情報の提供が求められていることがわかりました。

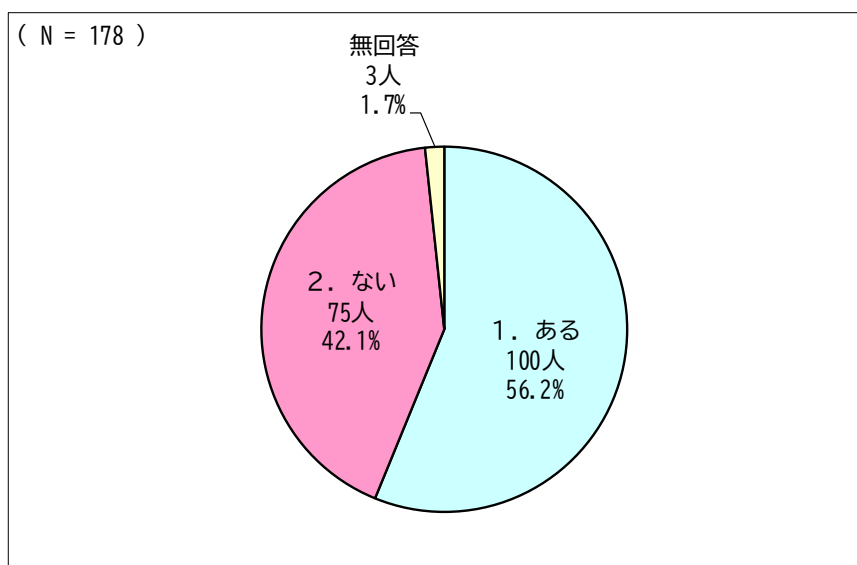
今回の調査結果を参考に、さらに多くの方が生涯学習に取り組み、学習を通じて身に付けた知識や技能を地域活動等に活用できるよう一層の支援を図ってまいります。

(教育委員会 生涯学習課)

設問9：過去1年間に生涯学習（※）をしたことがありますか。

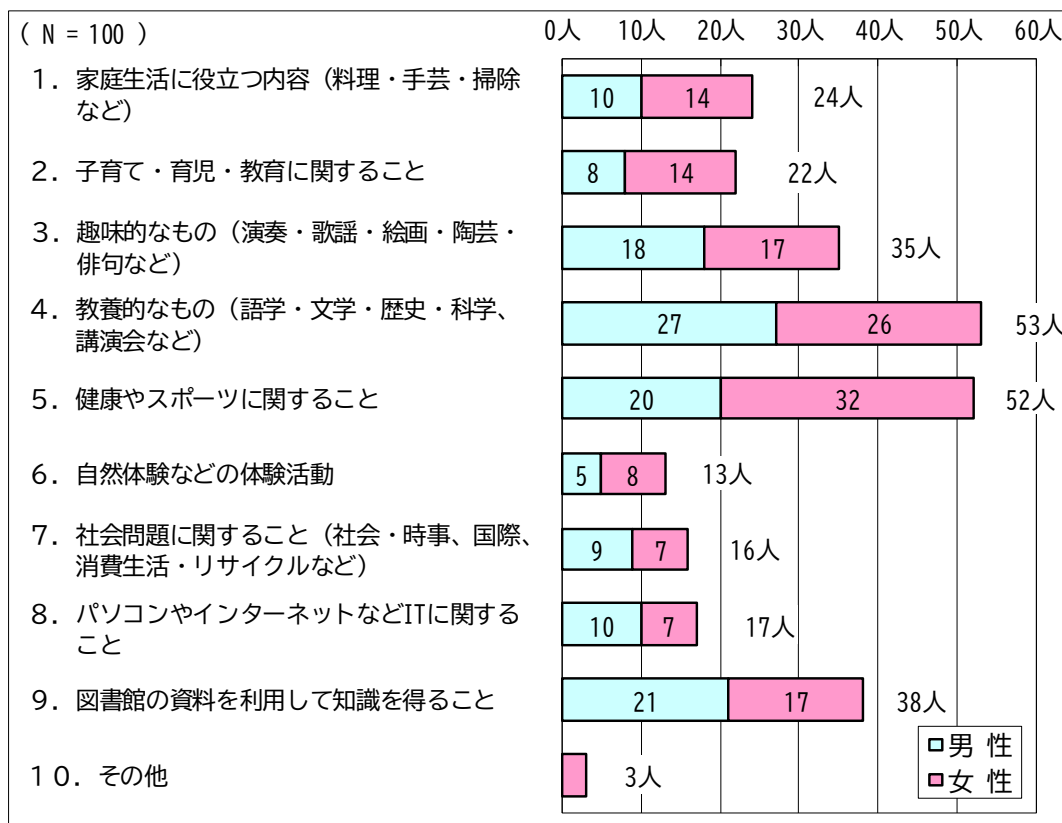
（※）生涯学習

学校教育、文化・スポーツ活動、趣味活動をはじめ生涯にわたって行われるあらゆる学習活動のこと



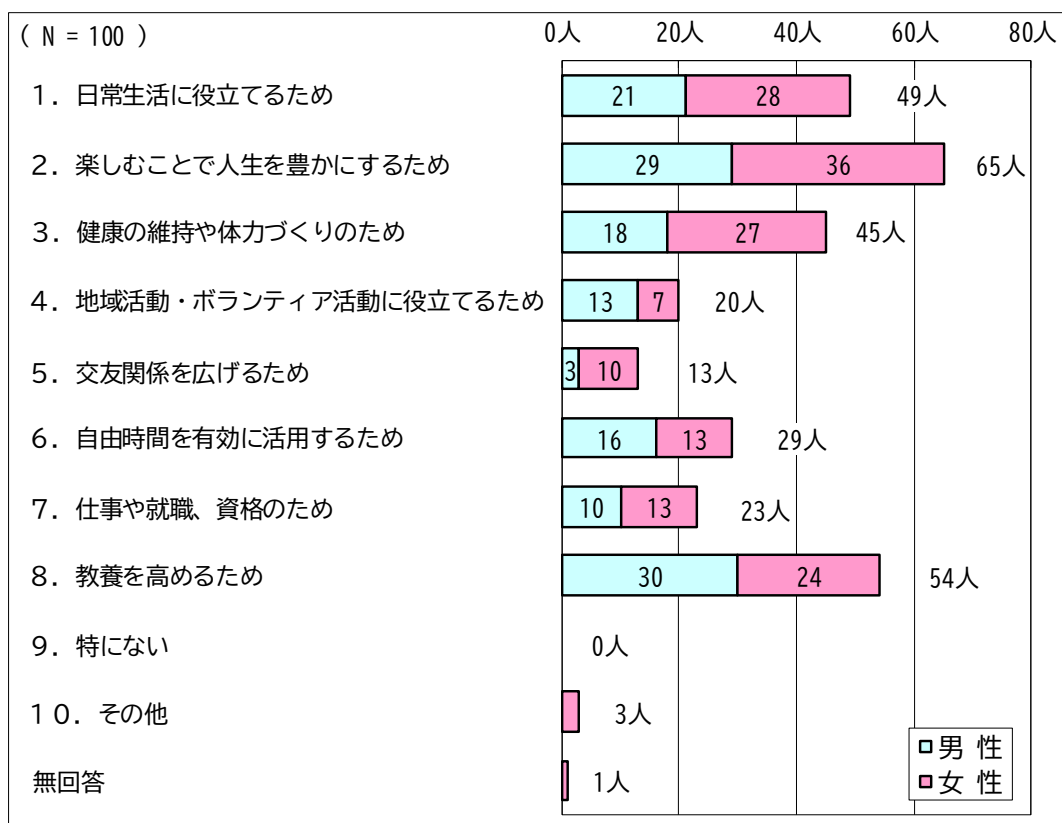
設問10：設問9で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。

過去1年間に行った生涯学習はどのようなものですか。(複数回答可)

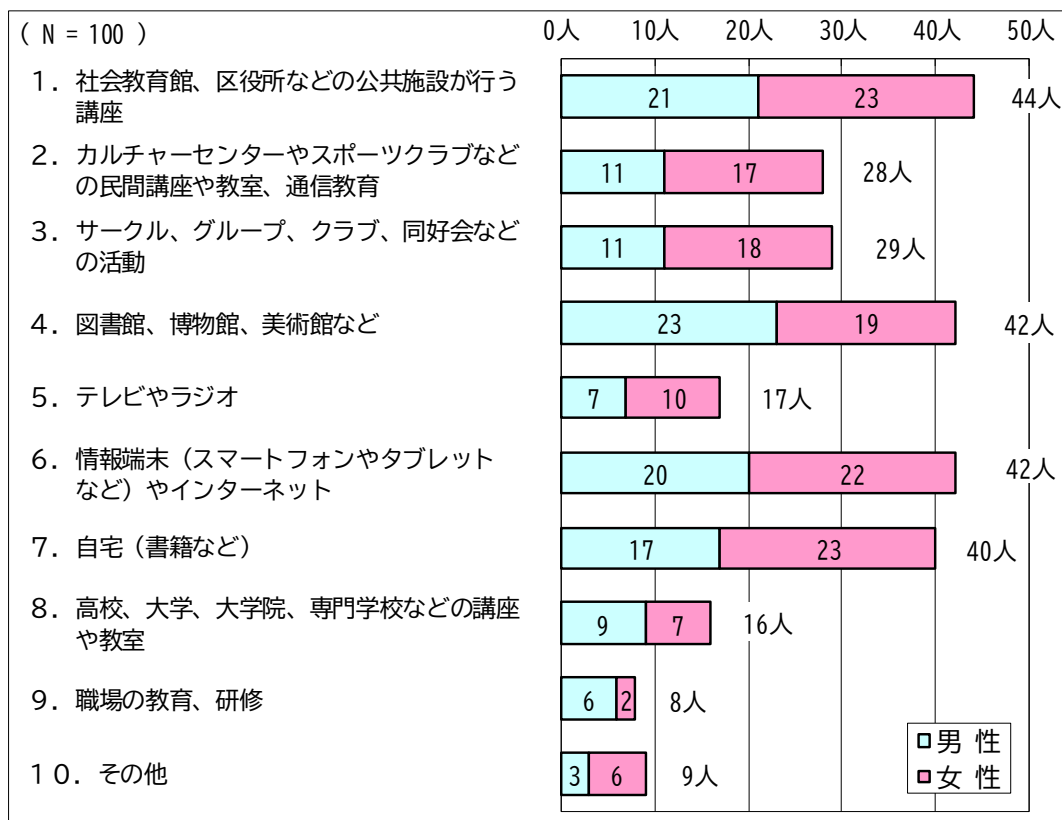


設問11：設問9で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。

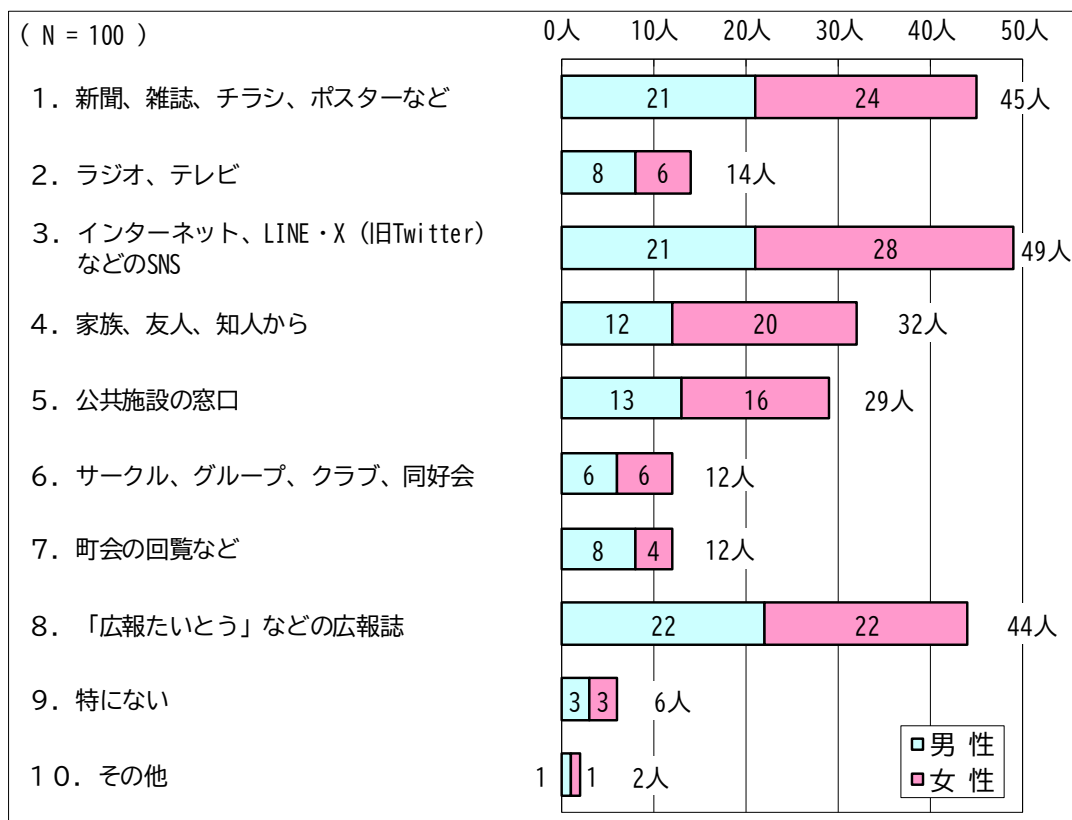
あなたが、生涯学習を行う目的は何ですか。(複数回答可)



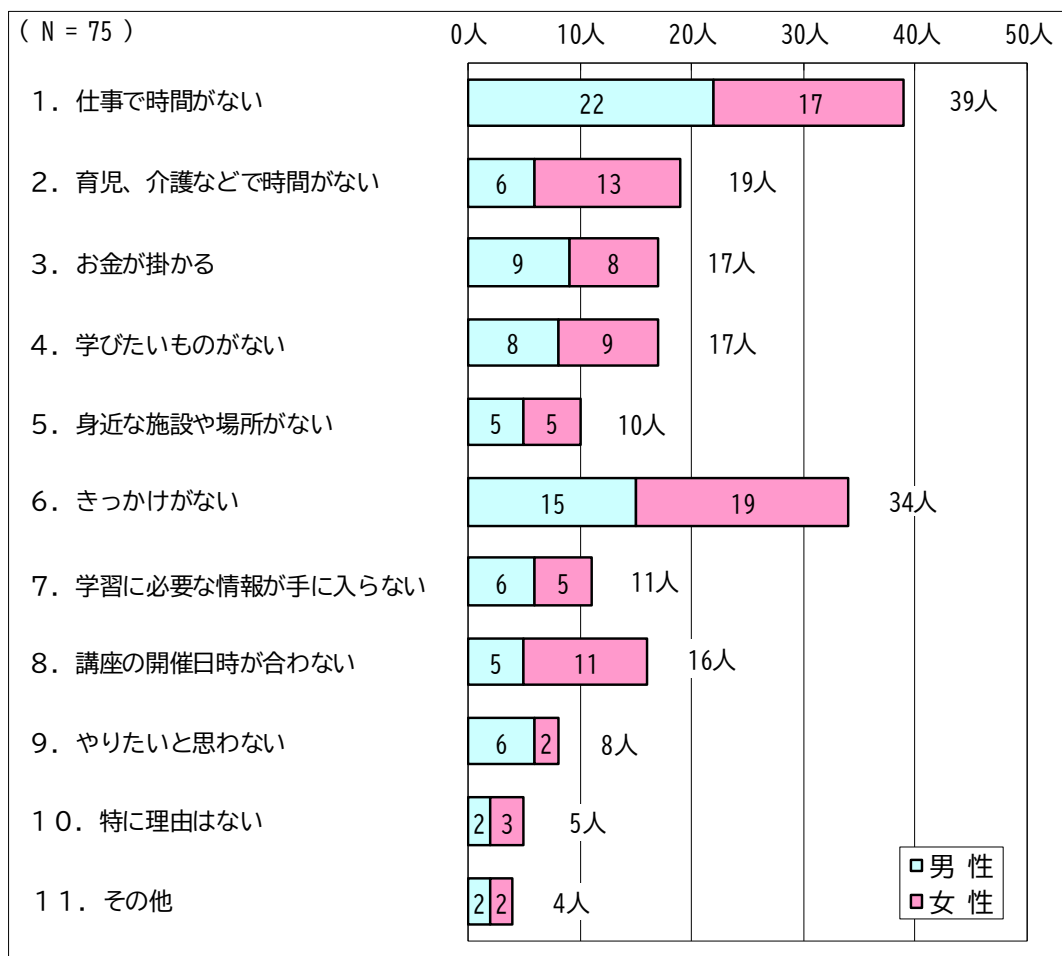
**設問12：**設問9で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。  
 どのような場所や形態で生涯学習を行いましたか。(複数回答可)



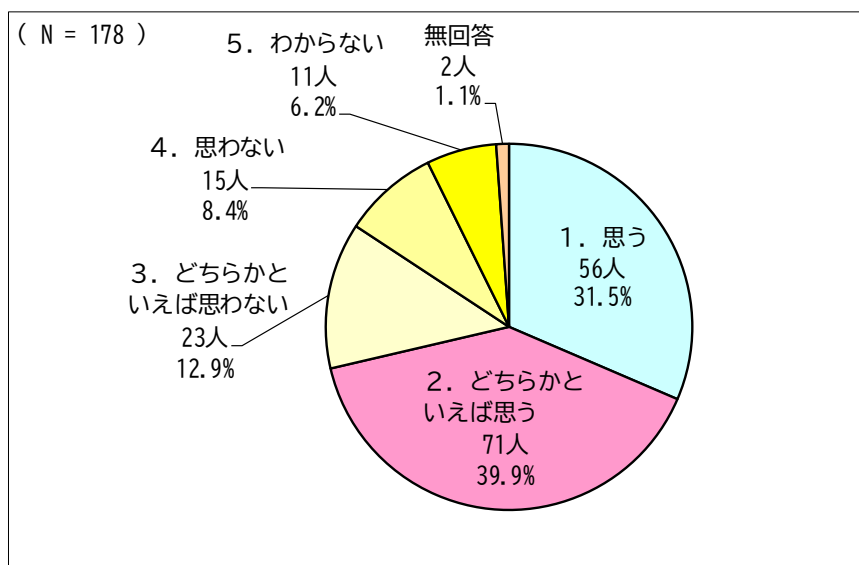
**設問13：**設問9で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。  
 生涯学習の情報をどのような方法で知りましたか。(複数回答可)



**設問14：**設問9で選択肢2「ない」を選択した方にお伺いします。  
過去1年間に生涯学習をしなかった理由は何ですか。(複数回答可)

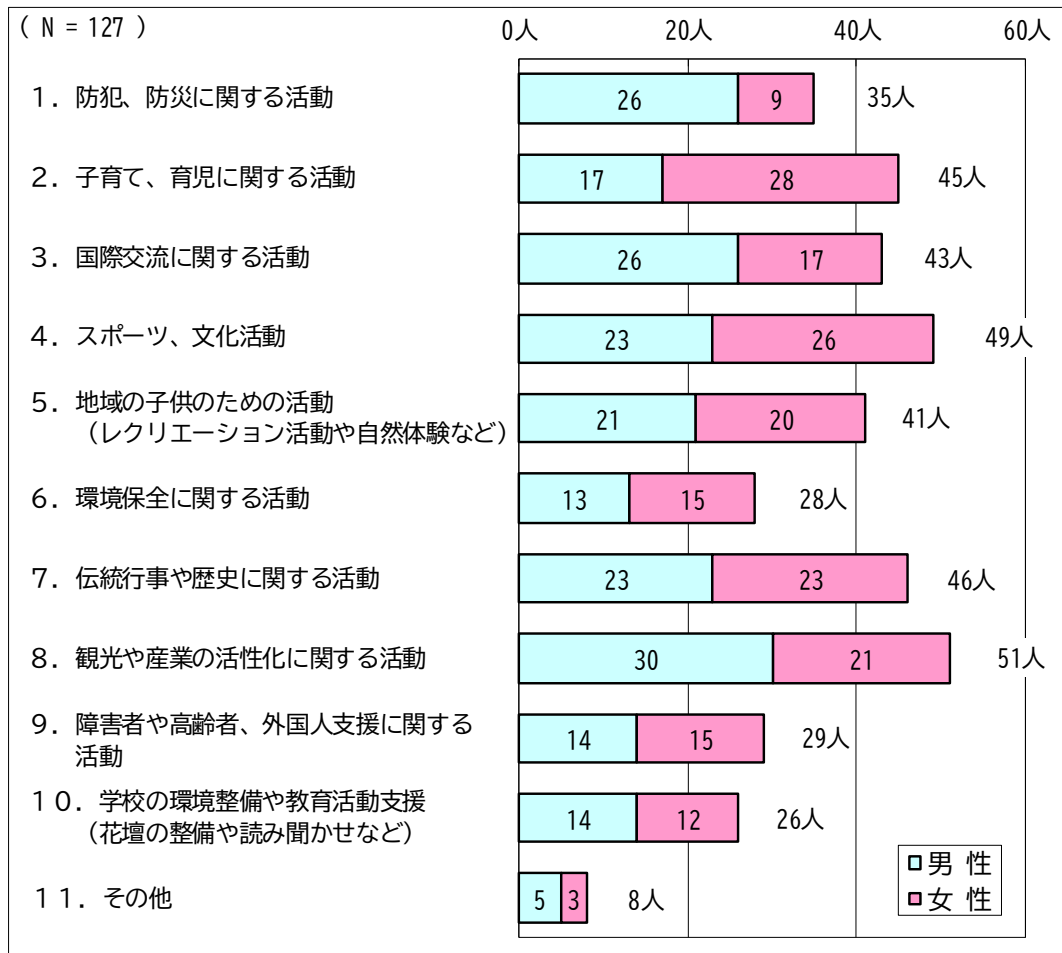


**設問15：**あなたは、ご自身の知識や経験を地域活動などに活かしたいと思いませんか。



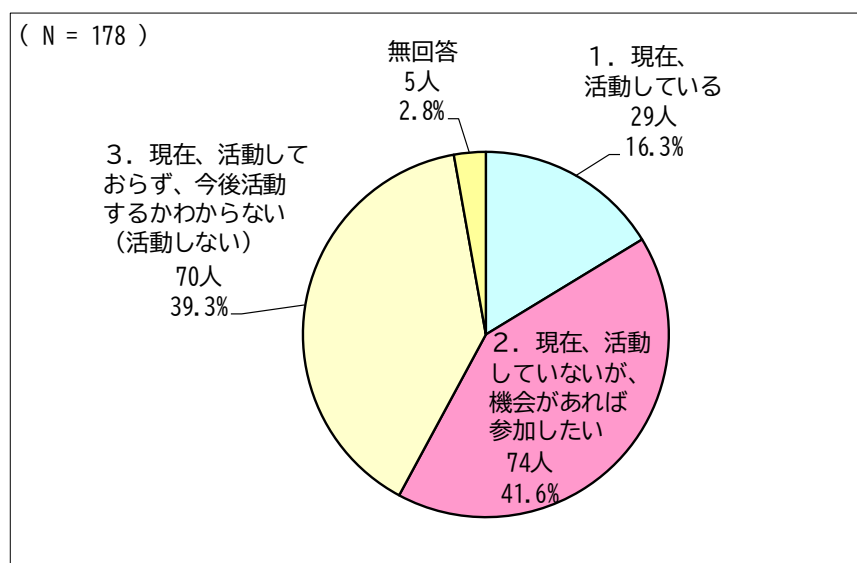
設問16：設問15で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

あなたは、地域や社会でどのような活動に参加したいですか。（複数回答可）

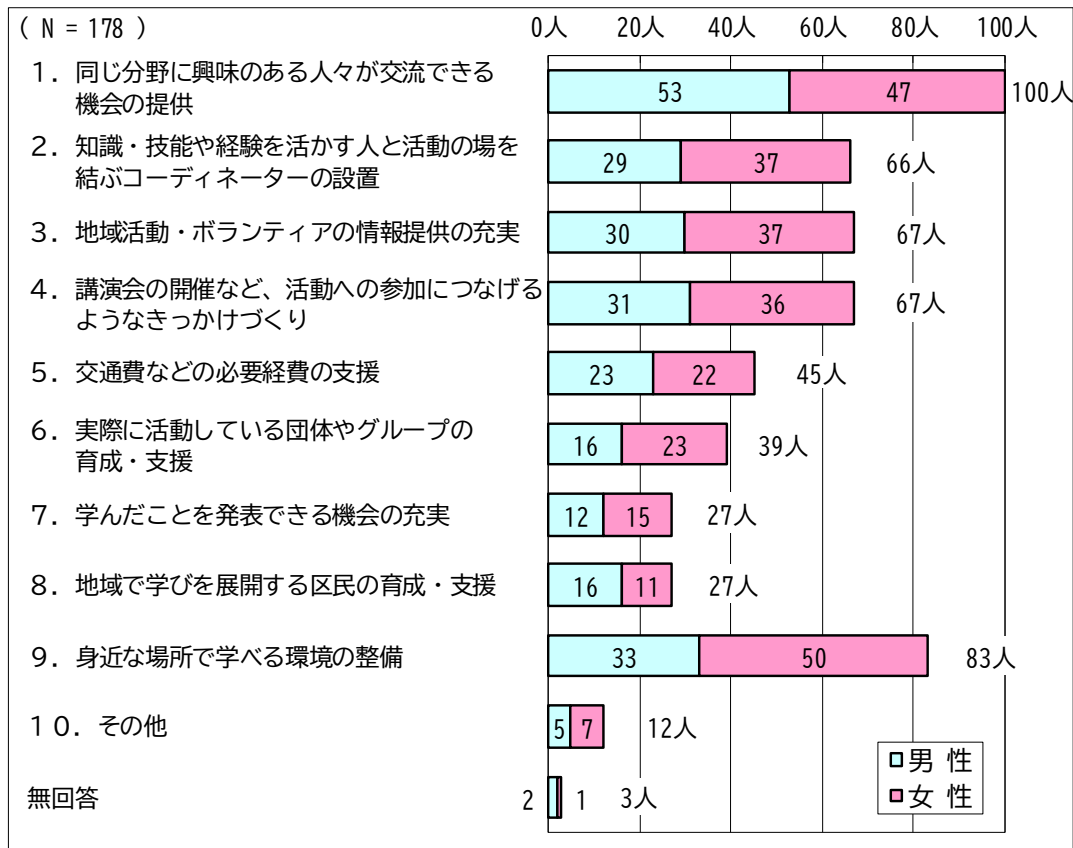


設問17：あなたは、地域のサークルやクラブなどの活動をしていますか。

または、今後活動したいと思いますか。



設問18：区民が地域のサークルやクラブなどの活動に参加しやすくなるために、区はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答可）



設問19：生涯学習について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・手軽に参加できるよう、1回で完結するものを増やし、参加費無料などにすると良い。
- ・子育てをしていると時間がない。仕事と家事で1日が終わることの方が多い。生活に余裕ができてからの生涯学習だと思う。
- ・持っている知識や技能を共有し、互いに学び合える場を広げ、それだけにとどまる事なく、さらに高度な知識や技術を習得できる体制や仕組みづくりが必要だと思う。
- ・私自身は積極的に参加する意欲はないが、地域住民にとって大いに意義のあることだと思う。住みやすさにもつながるので、自治体で力を入れることには賛成だ。
- ・オンラインで学習できる環境やサービスを提供してはどうか。
- ・忙しい人でも気軽に参加できるような生涯学習の機会を整備してほしい。
- ・生涯学習課の家庭教育学級など、子育ての知識を高めることができる機会が多いことに感謝している。
- ・機会と時間があれば学びたい。
- ・誰もが参加しやすい情報や機会をもっと多く出してほしい。
- ・区報に載っている講座に興味があるが、平日は仕事で帰りが遅いためほとんど参加できない。オンラインでの開催や、動画視聴方式などで時間や場所にとらわれない学習形式ができれば利用者はもっと増えるのではないかと思う。
- ・区主導で行われる地域のサークルやクラブなどの活動に積極的に参加できるよう、また、もっと身近に感じられるよう、交流できるきっかけ作りをしてほしい。
- ・興味はあるが、あと一歩が踏み出せない。子育て中で自分の時間を作るのがなかなか難しいので、そういった活動はもう少し子供が大きくなってからだと思う。
- ・もう少し生涯学習について敷居が低いと良いと思う。生涯学習センターに行く機会があるが、簡単に参加できない雰囲気だ。
- ・曜日が指定されているものは、シフトの仕事をしていると参加しづらい。



- ・地域の生涯学習は、高齢者以外は参加しにくい印象がある。
- ・生涯学習をするときのハードルの1つが費用だと思う。必要な器具の無料貸出を行ってくれるとありがたい。
- ・サークルなどに興味はあるが、どのように参加すればよいか、またはどのようなサークルがあるかなど、情報を得る方法がよくわからない。サークルのお試し情報などが定期的にあれば良いと思う。
- ・足腰が弱り外出する体力がなくなったとき、訪ねてくれる人、一緒に学び話し合う人がいてくれるとありがたい。そういう人を育ててほしい。
- ・町内会館など、もっと身近な場所で学びたい。
- ・都には現役世代中心のリカレントナビがあるが、高齢者を対象にした、より充実した過ごし方を導く長寿大学のような講習がないと思う。一定期間一緒に同様な意志を持つ高齢者の受講後の活動支援に役立つ施策が必要であると考えている。
- ・80歳を過ぎてAI関係は無理だと思い込んでいるが、覚えたいことがたくさんある。人との会話の中にも教えられることはたくさんある。
- ・生涯学習は色々と利用してみたいが、開催時間が早かったり、曜日が土日だったり、自分としては利用しにくい時間が多く、諦めることが多い。オンラインやビデオなどの貸出で学習できると学びやすいと思う。
- ・回数は少なくとも良いので、家にいながらできる配信の生涯学習講座があったら良いと思う。
- ・時代の変化に合わせて、選択肢、分野などの見直しが必要だと思う。
- ・まず第一に「どこで」「いつ」「何を」の案内を複数回周知してほしい。申込方法は電話が一番便利だ。
- ・生涯学習について学びたいと思うが、時間、お金、きっかけなど理由が色々あり、できていないのが現状だ。ハードルを低くし、入りやすく、気軽にできる環境があると良い。

## 【都市交流について】

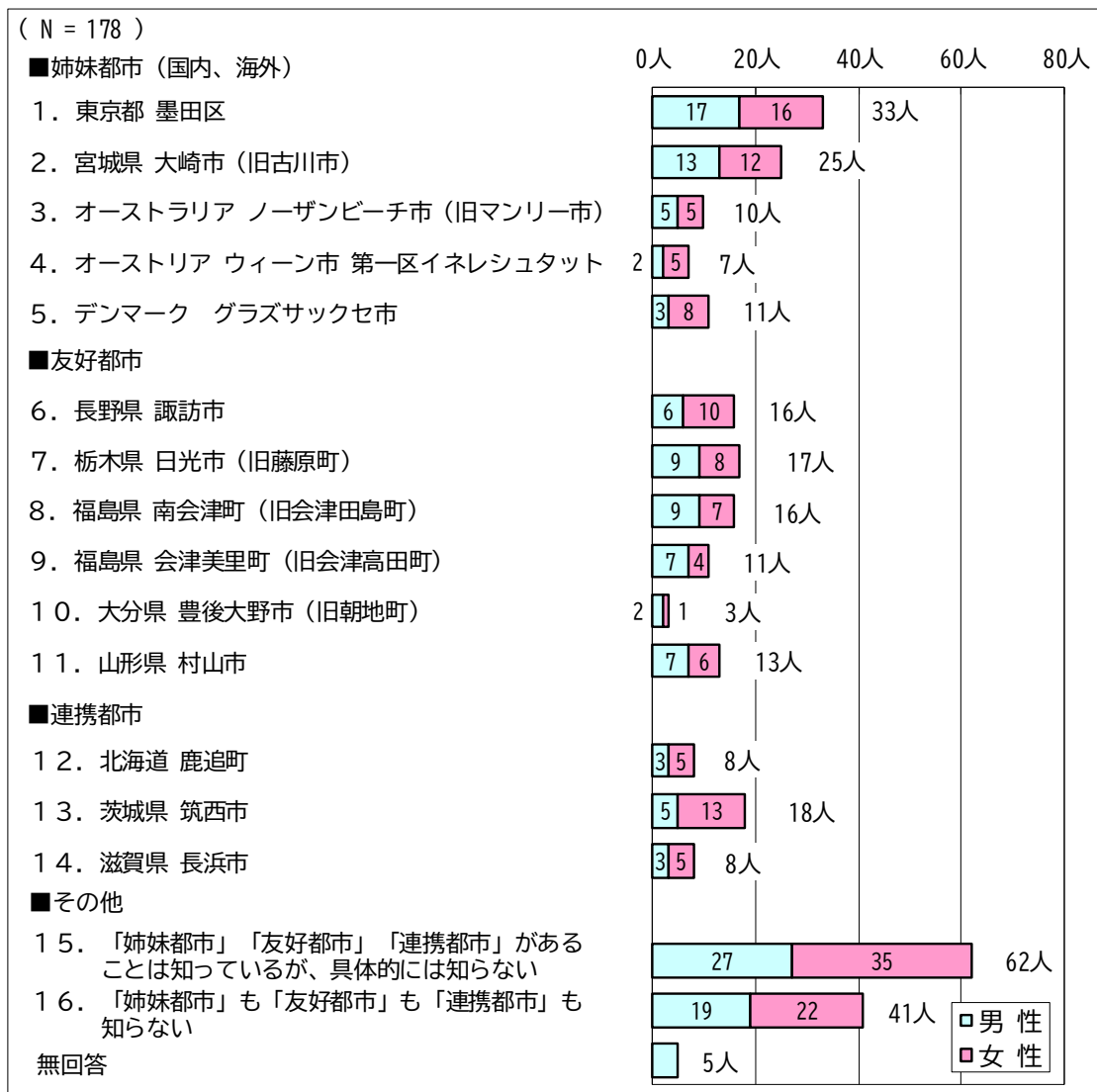
今回の調査では、5割以上の方が、区が姉妹・友好都市、連携都市を締結していることを「知らない」と回答している一方で、6割以上の方が都市交流に「関心がある」、約7割の方が区が交流を進めることを「必要である」と回答しています。しかし、都市間の交流への関心や必要性について「関心がない」「わからない」と回答した方が一定数いることから、各都市との交流に関する情報の発信や、区民が交流に関わることでできる機会を創出するなど、交流をより身近に感じる取り組みが一層必要であることがわかりました。

今回の調査結果を参考に、国内外の都市との連携を深め、様々な分野における区民主体の交流がさらに推進されるよう、効果的な事業を展開してまいります。

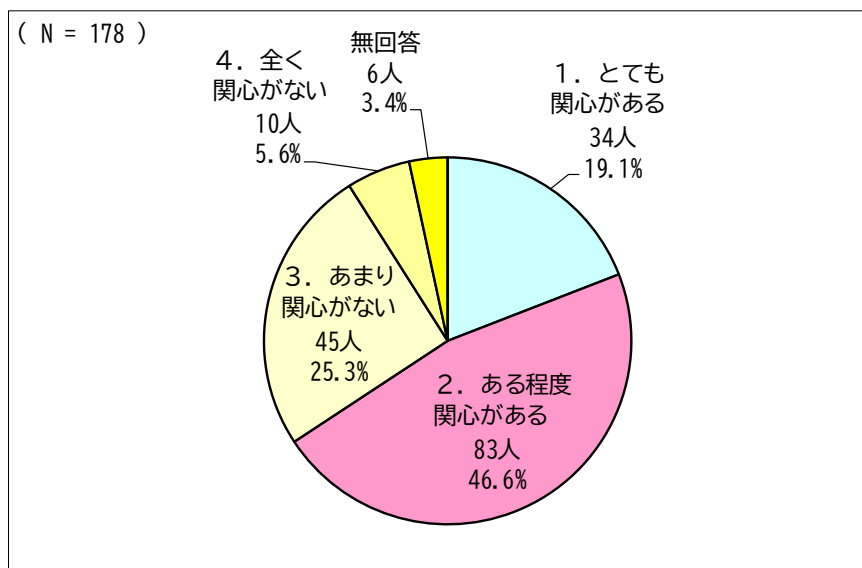
(国際・都市交流推進室 都市交流課)

**設問20：**区は、都市相互の発展や住民同士の友好親善を図るため、国内に11の都市と「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」を締結しています。さらに、海外には3つの都市と「姉妹都市」を締結し、区民などの国際理解を深めるとともに、区の魅力を広く発信するための交流を推進しています。

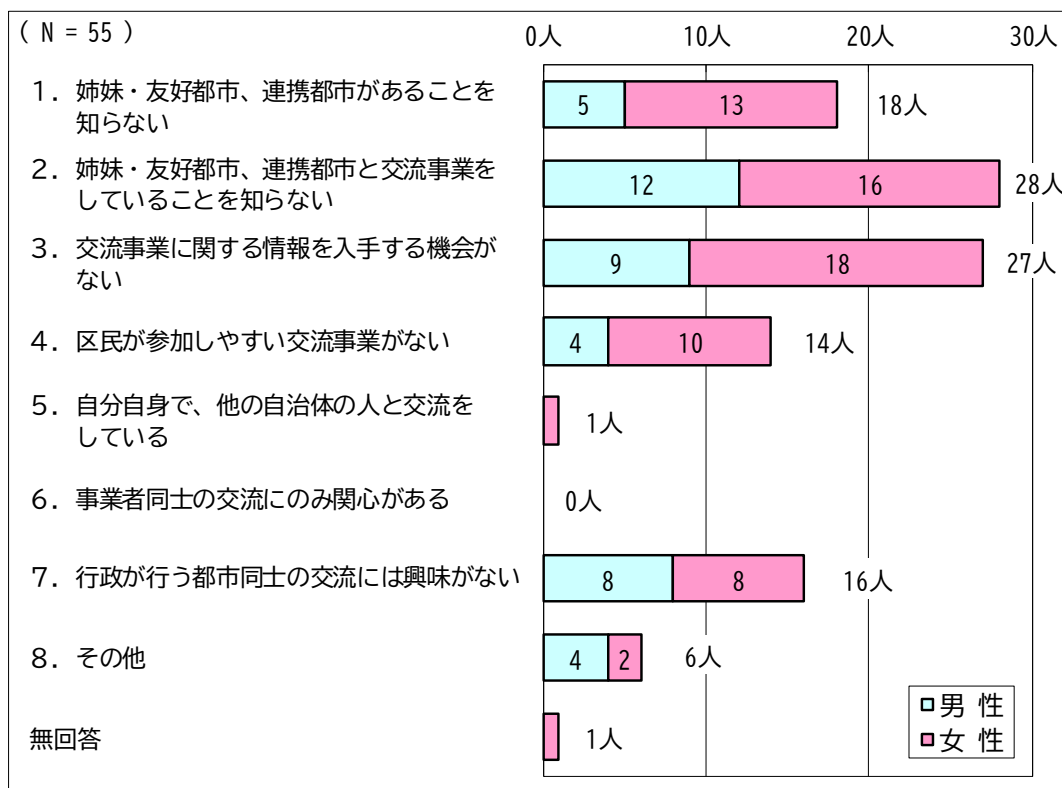
あなたが、区が締結していることを知っている「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」はありますか。(複数回答可)



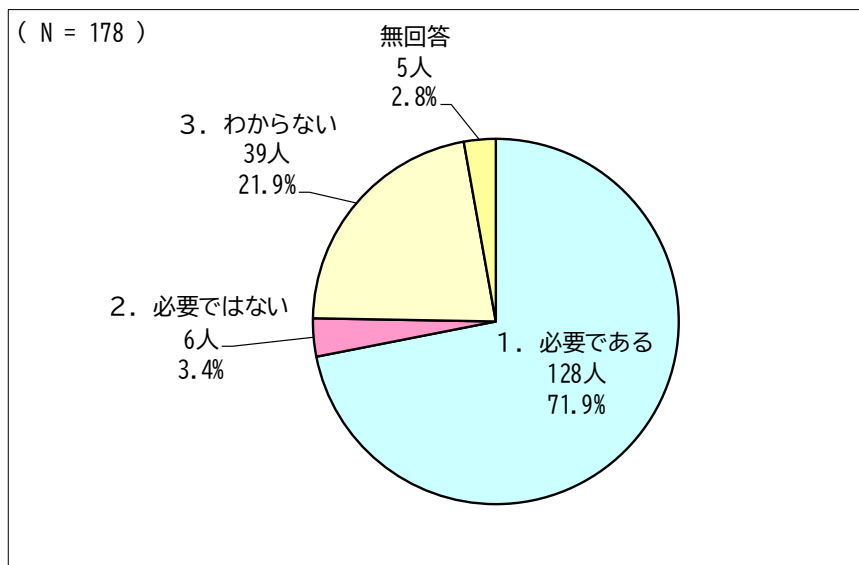
設問21：区は姉妹・友好都市、連携都市と文化・産業・観光・スポーツ等の様々な分野で交流を行っています。このような交流に関心がありますか。



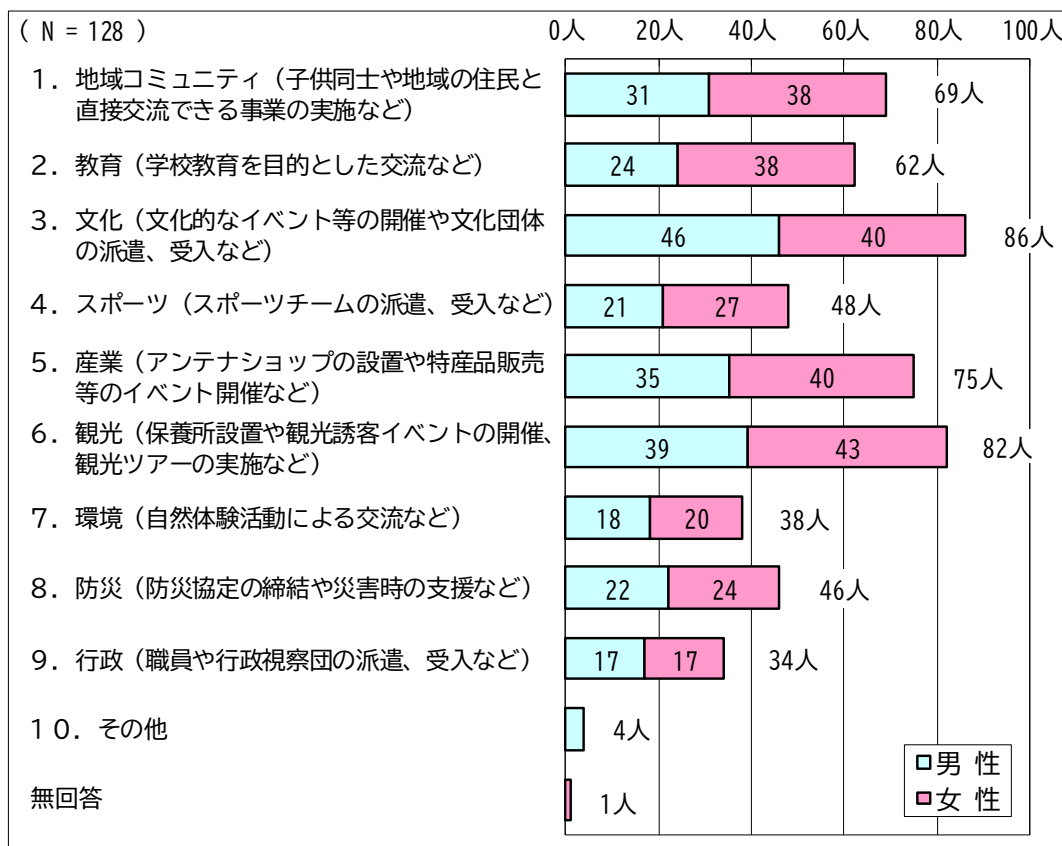
設問22：設問21で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。交流事業に関心がない理由は何ですか。(複数回答可)



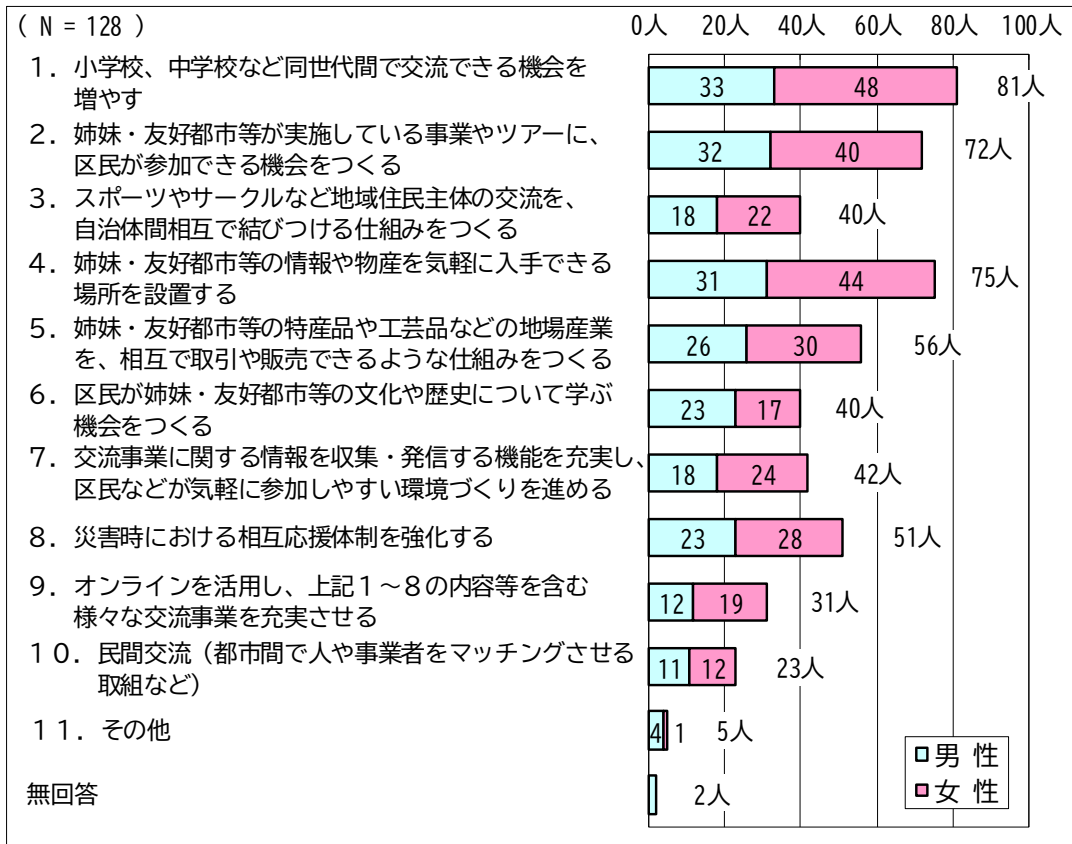
設問23：姉妹・友好都市、連携都市に限らず、区が国内外の各都市や地域と様々な交流をすることは必要だと思いますか。



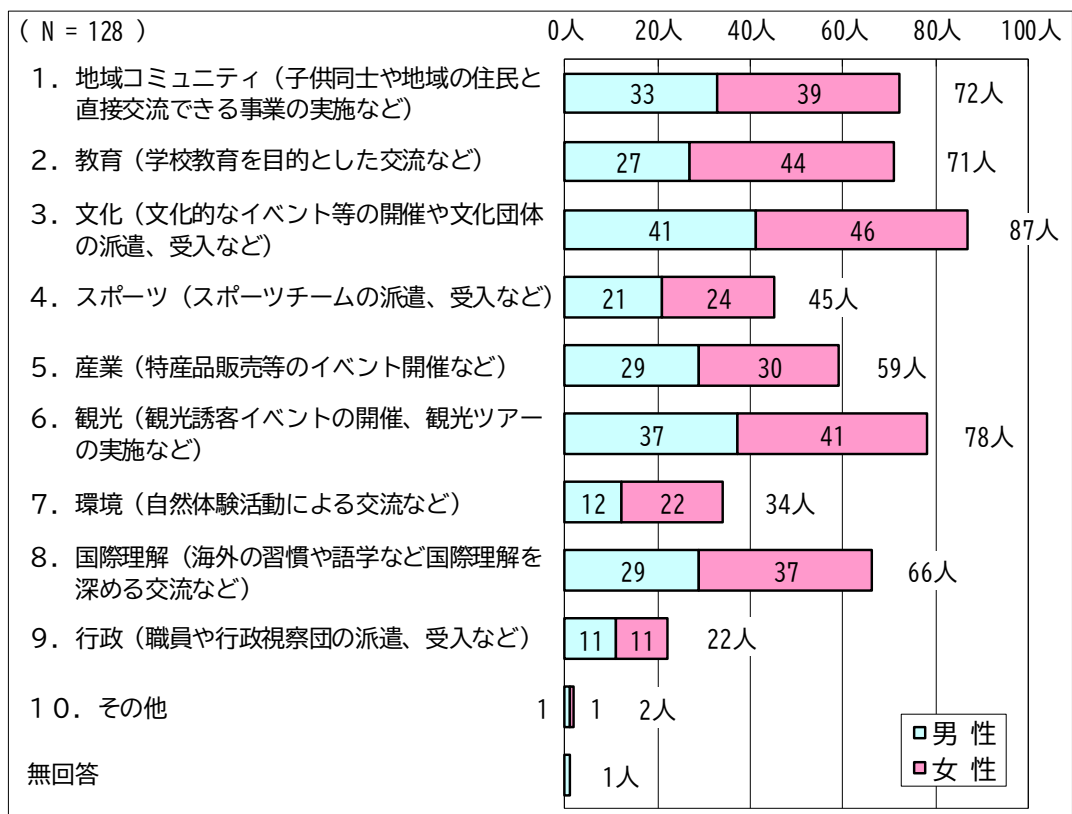
設問24：設問23で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。  
国内の都市とどのような分野の交流が必要だと思いますか。(複数回答可)



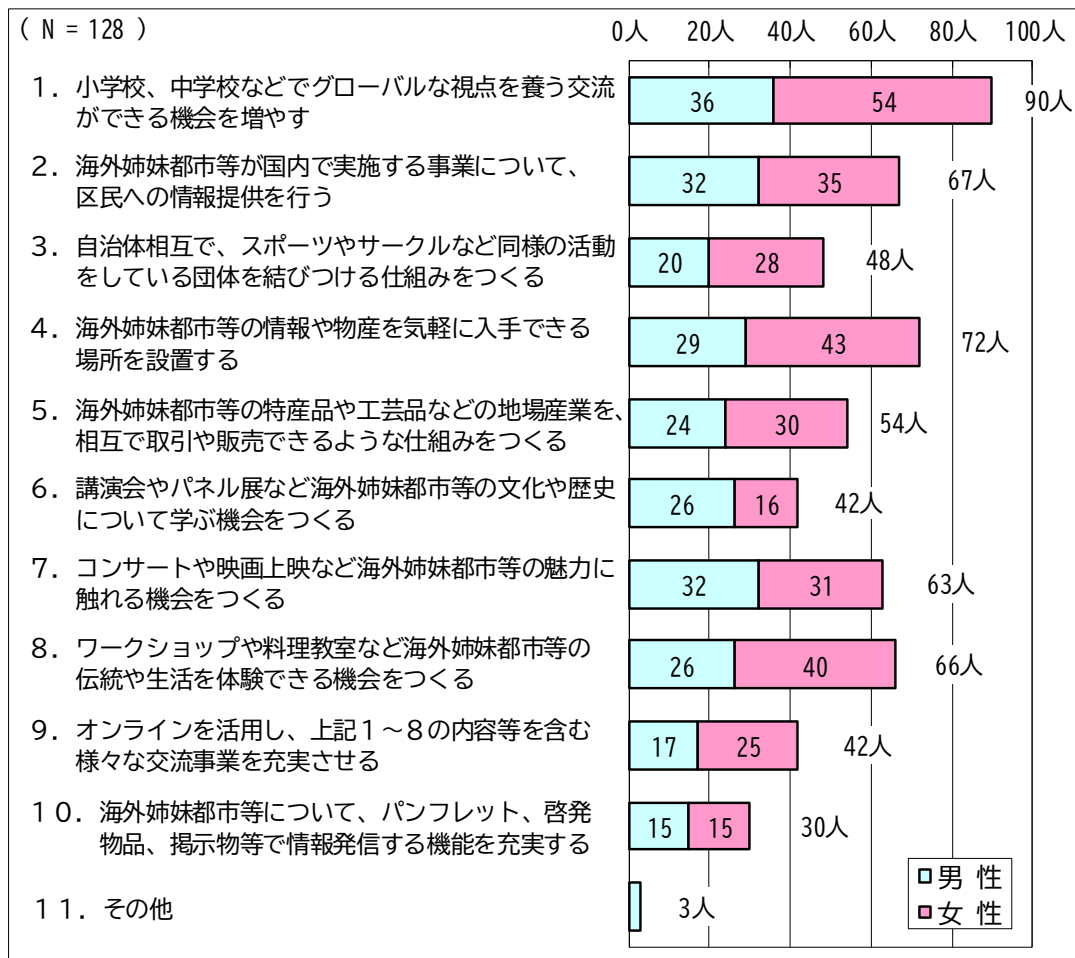
**設問25：**設問23で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。  
国内の都市との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。  
(複数回答可)



**設問26：**設問23で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。  
海外姉妹都市等とどのような分野の交流が必要だと思いますか。(複数回答可)



設問27：設問23で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。  
 海外姉妹都市等との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。  
 (複数回答可)



設問28：「都市交流」について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・都市交流というものを知らなかったの、他にも知らない人がいると思う。何をしていた、メリットは何か、ということを知周知してはどうか。
- ・姉妹都市などは、学校で特産品をもらったことのある都市は知っていたが、たくさんの都市と関わりを持っていることは知らなかった。都市交流について知る機会があまりないので、情報を発信していく必要があると思う。
- ・台東区が、これほどたくさんの都市と交流があるのは知らなかった。色々な経験や観光での結びつきがあるのは良いと思う。
- ・都市交流については、周りを見渡しても関心を持っている人が少ない気がする。私自身もあまり気にかけてことがない。どのようにしたら関心を持ってもらえるか、考えるべきかもしれない。
- ・物産展くらいしか知らない。子供達が相互に行き来して、交流できる機会があると良いと思う。小さい頃の体験はとても貴重で、記憶に残ると思う。
- ・対象を子供にしたら良いと思う。ゲームやSNSが楽しいと思う時代のため、交流することの楽しさを学ぶことで、今後の成長に役立てると思う。
- ・区の将来は子供たちに掛かっているので、小中学生の交流を活発に実施することにより、参加させる保護者の意識も向上するのではないかと思う。
- ・都市交流について区民への情報が少ない。見える化できる施策を打つべきだ。
- ・姉妹都市間での交流は、相手の住民の方々と肌で接する機会をどのようにつくるかが第一と考える。また、一般の人たちが、友好都市との真の友好を続けてくれるような方策を互いに考えたい。
- ・住まいの近くに「ふるさと交流ショップ」があり、各々の特産品を販売しているので利用している。また、青少年にとって異文化を体験することは必要なことだと思う。
- ・ニュースでは都市交流を見ていたが、身近に感じられなかった。これからは意識的に見ていきたい。

- ・ 中学時代にデンマークへ交換留学したことがあり、それが良い経験になっている。一緒に留学した仲間たちの多くも現在グローバルな仕事に就いていて、子供たちにも同じ経験をさせたいと思っている。
- ・ 姉妹都市などが、これほどあったとは知らなかったため驚いた。特に海外の都市との交流がより活発だったら、お互いの文化などを知る良い機会になり、興味もわくと思った。
- ・ 台東区ではないが、小学生の頃に海外からの留学生とパターゴルフをしたことが記憶に残っている。言語を話せることが重視されがちだが、まずは楽しい記憶を作ってみてはどうか。
- ・ コロナ等や円安などもあり、子供達が海外に行くチャンスがなかなか取れていないこともあると思うので、次世代を担う子供達が姉妹都市と交流できる機会をたくさん作ってほしいと思う。
- ・ 今まで全く知らず、関心があまりなかったが、もっと知る機会があれば関心を持ったと思う。オーストラリアならば英語圏ということで、中学生への関心を持ってもらう機会になると思う。
- ・ 子供たちがもっと交流できる場を作ってあげたら良いと思う。特に、外国人と接すると世界が広がると思う。
- ・ 学校の長期休みに、学生たちが交流できる機会があると良い。そして、その経験を区に還元できるような機会もあれば良いと思う。また、オンラインなどで交流できる機会があるとより身近に感じられると思う。
- ・ 姉妹都市の有用性はよくわからない。「姉妹都市という言葉は知っているが、実際何なのだろう？」と思う人は多いと思う。姉妹都市は何か、目的は何か、どのような活動をしてきたのかを一層アピールした方が良いと思う。
- ・ 区の様々な取り組みは高く評価できると感じている。例えば、行政サービスなど、他都市からの研修を受け入れ、広めていくのも良いと思う。
- ・ 区に必要だと思われる情報や、改善を既にされている都市との情報交換などは、「姉妹都市」などに限らず交流し、見習うところやそれを発展させて生かすなど、区民の利益になることを学んではどうか。



## II アンケート質問と回答

### 【キャッシュレス決済について】

**設問1:** 日々の生活の中で、クレジットカードや電子マネーなどの現金以外の決済方法を利用していますか。

1. 利用している	163人	91.6%
2. 利用していないが興味はある	5人	2.8%
3. 利用していないし、今後も利用する予定はない	8人	4.5%
無回答	2人	1.1%
全体	178人	100.0%

**設問2:** 設問1で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。  
現在利用している、又は、今後利用してみたい決済方法は何か。（複数回答可）

1. クレジットカード	147人	87.5%
2. ICカードの電子マネー（PASMO、Suica、nanacoなど）	137人	81.5%
3. QRコードのスマートフォン決済（LINE Pay、PayPayなど）	107人	63.7%
4. タッチ型のスマートフォン決済（モバイルSuica、iDなど）	75人	44.6%
5. その他	4人	2.4%
全体	470人	

**設問3:** 設問1で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。  
キャッシュレス決済を利用している、又は、利用したい理由は何ですか。（複数回答可）

1. ポイントが貯まるから	133人	79.2%
2. ネットショッピングを利用するから	81人	48.2%
3. 現金を持ち歩きたくないから	93人	55.4%
4. その他	30人	17.9%
無回答	1人	0.6%
全体	338人	

**設問4:** 設問1で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。  
キャッシュレス決済を利用している、又は、利用したいと思うのは、どのような場面ですか。（複数回答可）

1. 日用品や食料品などの買い物	153人	91.1%
2. 医療や介護にかかる費用の支払い	101人	60.1%
3. 外食	139人	82.7%
4. レジャーや旅行先	128人	76.2%
5. その他	11人	6.5%
無回答	2人	1.2%
全体	534人	

**設問5:** 設問1で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。  
キャッシュレス決済を利用するにあたり不安や課題を感じることはありますか。  
(複数回答可)

1. 使えるお店やサービスが少ない	43人	25.6%
2. クレジットカードやスマートフォンの紛失、盗難、個人情報の漏洩	99人	58.9%
3. 登録や更新、機種変更時の引継ぎなどの手続きが面倒	66人	39.3%
4. その他	13人	7.7%
5. 特にない	25人	14.9%
無回答	4人	2.4%
全体	250人	

**設問6:** 設問1で選択肢3「利用していないし、今後も利用する予定はない」を選択した方にお伺いします。  
キャッシュレス決済を利用しない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 現金が使いやすいから	5人	62.5%
2. 買い物するお店が、キャッシュレス決済に対応していないから	1人	12.5%
3. クレジットカードやスマートフォンの紛失、盗難、個人情報の漏洩が心配だから	6人	75.0%
4. 登録や更新、機種変更時の引継ぎなどの手続きが面倒だから	3人	37.5%
5. その他	2人	25.0%
全体	17人	

**設問7:** 国は、2025年までにキャッシュレス化を40%程度とする目標を掲げており、2022年時点で36.0%まで達しています。  
キャッシュレス化が進んだ要因は何だと思えますか。(複数回答可)

1. コロナ禍での感染対策としての普及	86人	48.3%
2. 使えるお店やサービスの増加	145人	81.5%
3. スマートフォンの普及	109人	61.2%
4. その他	24人	13.5%
5. わからない	3人	1.7%
全体	367人	

**設問8:** キャッシュレス化について、ご意見等がありましたらご記入ください。

## 【生涯学習について】

**設問9:** 過去1年間に生涯学習をしたことがありますか。

1. ある	100人	56.2%
2. ない	75人	42.1%
無回答	3人	1.7%
全体	178人	100.0%

**設問10:** 設問9で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。  
過去1年間に行った生涯学習はどのようなものですか。(複数回答可)

1. 家庭生活に役立つ内容(料理・手芸・掃除など)	24人	24.0%
2. 子育て・育児・教育に関すること	22人	22.0%
3. 趣味的なもの(演奏・歌謡・絵画・陶芸・俳句など)	35人	35.0%
4. 教養的なもの(語学・文学・歴史・科学、講演会など)	53人	53.0%
5. 健康やスポーツに関すること	52人	52.0%
6. 自然体験などの体験活動	13人	13.0%
7. 社会問題に関すること(社会・時事、国際、消費生活・リサイクルなど)	16人	16.0%
8. パソコンやインターネットなどITに関すること	17人	17.0%
9. 図書館の資料を利用して知識を得ること	38人	38.0%
10. その他	3人	3.0%
<b>全体</b>	<b>273人</b>	

**設問11:** 設問9で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。  
あなたが、生涯学習を行う目的は何ですか。(複数回答可)

1. 日常生活に役立てるため	49人	49.0%
2. 楽しむことで人生を豊かにするため	65人	65.0%
3. 健康の維持や体力づくりのため	45人	45.0%
4. 地域活動・ボランティア活動に役立てるため	20人	20.0%
5. 交友関係を広げるため	13人	13.0%
6. 自由時間を有効に活用するため	29人	29.0%
7. 仕事や就職、資格のため	23人	23.0%
8. 教養を高めるため	54人	54.0%
9. 特になし	0人	0.0%
10. その他	3人	3.0%
無回答	1人	1.0%
<b>全体</b>	<b>302人</b>	

**設問12:** 設問9で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。  
どのような場所や形態で生涯学習を行いましたか。(複数回答可)

1. 社会教育館、区役所などの公共施設が行う講座	44人	44.0%
2. カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間講座や教室、通信教育	28人	28.0%
3. サークル、グループ、クラブ、同好会などの活動	29人	29.0%
4. 図書館、博物館、美術館など	42人	42.0%
5. テレビやラジオ	17人	17.0%
6. 情報端末(スマートフォンやタブレットなど)やインターネット	42人	42.0%
7. 自宅(書籍など)	40人	40.0%
8. 高校、大学、大学院、専門学校などの講座や教室	16人	16.0%
9. 職場の教育、研修	8人	8.0%
10. その他	9人	9.0%
<b>全体</b>	<b>275人</b>	

**設問13:** 設問9で選択肢1「ある」を選択した方にお伺いします。  
生涯学習の情報をどのような方法で知りましたか。(複数回答可)

1. 新聞、雑誌、チラシ、ポスターなど	45人	45.0%
2. ラジオ、テレビ	14人	14.0%
3. インターネット、LINE・X(旧Twitter)などのSNS	49人	49.0%
4. 家族、友人、知人から	32人	32.0%
5. 公共施設の窓口	29人	29.0%
6. サークル、グループ、クラブ、同好会	12人	12.0%
7. 町会の回覧など	12人	12.0%
8. 「広報たいとう」などの広報誌	44人	44.0%
9. 特にない	6人	6.0%
10. その他	2人	2.0%
全体	245人	

**設問14:** 設問9で選択肢2「ない」を選択した方にお伺いします。  
過去1年間に生涯学習をしなかった理由は何ですか。(複数回答可)

1. 仕事で時間がない	39人	52.0%
2. 育児、介護などで時間がない	19人	25.3%
3. お金が掛かる	17人	22.7%
4. 学びたいものがない	17人	22.7%
5. 身近な施設や場所がない	10人	13.3%
6. きっかけがない	34人	45.3%
7. 学習に必要な情報が手に入らない	11人	14.7%
8. 講座の開催日時が合わない	16人	21.3%
9. やりたいと思わない	8人	10.7%
10. 特に理由はない	5人	6.7%
11. その他	4人	5.3%
全体	180人	

**設問15:** あなたは、ご自身の知識や経験を地域活動などに活かしたいと思えますか。

1. 思う	56人	31.5%
2. どちらかといえば思う	71人	39.9%
3. どちらかといえば思わない	23人	12.9%
4. 思わない	15人	8.4%
5. わからない	11人	6.2%
無回答	2人	1.1%
全体	178人	100.0%

**設問16:** 設問15で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。

あなたは、地域や社会でどのような活動に参加したいですか。(複数回答可)

1. 防犯、防災に関する活動	35人	27.6%
2. 子育て、育児に関する活動	45人	35.4%
3. 国際交流に関する活動	43人	33.9%
4. スポーツ、文化活動	49人	38.6%
5. 地域の子供のための活動(レクリエーション活動や自然体験など)	41人	32.3%
6. 環境保全に関する活動	28人	22.0%
7. 伝統行事や歴史に関する活動	46人	36.2%
8. 観光や産業の活性化に関する活動	51人	40.2%
9. 障害者や高齢者、外国人支援に関する活動	29人	22.8%
10. 学校の環境整備や教育活動支援(花壇の整備や読み聞かせなど)	26人	20.5%
11. その他	8人	6.3%
全体	401人	

**設問17:** あなたは、地域のサークルやクラブなどの活動をしていますか。または、今後活動したいと思いませんか。

1. 現在、活動している	29人	16.3%
2. 現在、活動していないが、機会があれば参加したい	74人	41.6%
3. 現在、活動しておらず、今後活動するかわからない(活動しない)	70人	39.3%
無回答	5人	2.8%
全体	178人	100.0%

**設問18:** 区民が地域のサークルやクラブなどの活動に参加しやすくなるために、区はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答可)

1. 同じ分野に興味のある人々が交流できる機会の提供	100人	56.2%
2. 知識・技能や経験を活かす人と活動の場を結ぶコーディネーターの設置	66人	37.1%
3. 地域活動・ボランティアの情報提供の充実	67人	37.6%
4. 講演会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけづくり	67人	37.6%
5. 交通費などの必要経費の支援	45人	25.3%
6. 実際に活動している団体やグループの育成・支援	39人	21.9%
7. 学んだことを発表できる機会の充実	27人	15.2%
8. 地域で学びを展開する区民の育成・支援	27人	15.2%
9. 身近な場所で学べる環境の整備	83人	46.6%
10. その他	12人	6.7%
無回答	3人	1.7%
全体	536人	

**設問19:** 生涯学習について、ご意見等がありましたらご記入ください。

## 【都市交流について】

**設問20:** 区は、都市相互の発展や住民同士の友好親善を図るため、国内に11の都市と「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」を締結しています。さらに、海外には3つの都市と「姉妹都市」を締結し、区民などの国際理解を深めるとともに、区の魅力を広く発信するための交流を推進しています。  
あなたが、区が締結していることを知っている「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」はありますか。（複数回答可）

### ■姉妹都市（国内、海外）

1. 東京都 墨田区	33人	18.5%
2. 宮城県 大崎市（旧古川市）	25人	14.0%
3. オーストラリア ノーザンビーチ市（旧マンリー市）	10人	5.6%
4. オーストリア ウィーン市 第一区イネレシュタット	7人	3.9%
5. デンマーク グラズサクセ市	11人	6.2%

### ■友好都市

6. 長野県 諏訪市	16人	9.0%
7. 栃木県 日光市（旧藤原町）	17人	9.6%
8. 福島県 南会津町（旧会津田島町）	16人	9.0%
9. 福島県 会津美里町（旧会津高田町）	11人	6.2%
10. 大分県 豊後大野市（旧朝地町）	3人	1.7%
11. 山形県 村山市	13人	7.3%

### ■連携都市

12. 北海道 鹿追町	8人	4.5%
13. 茨城県 筑西市	18人	10.1%
14. 滋賀県 長浜市	8人	4.5%

### ■その他

15. 「姉妹都市」「友好都市」「連携都市」があることは知っているが、具体的には知らない	62人	34.8%
16. 「姉妹都市」も「友好都市」も「連携都市」も知らない	41人	23.0%
無回答	5人	2.8%
全体	304人	

**設問21:** 区は姉妹・友好都市、連携都市と文化・産業・観光・スポーツ等の様々な分野で交流を行っています。このような交流に関心がありますか。

1. とても関心がある	34人	19.1%
2. ある程度関心がある	83人	46.6%
3. あまり関心がない	45人	25.3%
4. 全く関心がない	10人	5.6%
無回答	6人	3.4%
全体	178人	100.0%

**設問22:** 設問21で選択肢3、4を選択した方にお伺いします。  
交流事業に関心がない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 姉妹・友好都市、連携都市があることを知らない	18人	32.7%
2. 姉妹・友好都市、連携都市と交流事業をしていることを知らない	28人	50.9%
3. 交流事業に関する情報を入手する機会がない	27人	49.1%
4. 区民が参加しやすい交流事業がない	14人	25.5%
5. 自分自身で、他の自治体の人と交流をしている	1人	1.8%
6. 事業者同士の交流にのみ関心がある	0人	0.0%
7. 行政が行う都市同士の交流には興味がない	16人	29.1%
8. その他	6人	10.9%
無回答	1人	1.8%
全体	111人	

**設問23:** 姉妹・友好都市、連携都市に限らず、区が国内外の各都市や地域と様々な交流をすることは必要だと思いますか。

1. 必要である	128人	71.9%
2. 必要ではない	6人	3.4%
3. わからない	39人	21.9%
無回答	5人	2.8%
全体	178人	100.0%

**設問24:** 設問23で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。  
国内の都市とどのような分野の交流が必要だと思いますか。(複数回答可)

1. 地域コミュニティ(子供同士や地域の住民と直接交流できる事業の実施など)	69人	53.9%
2. 教育(学校教育を目的とした交流など)	62人	48.4%
3. 文化(文化的なイベント等の開催や文化団体の派遣、受入など)	86人	67.2%
4. スポーツ(スポーツチームの派遣、受入など)	48人	37.5%
5. 産業(アンテナショップの設置や特産品販売等のイベント開催など)	75人	58.6%
6. 観光(保養所設置や観光誘客イベントの開催、観光ツアーの実施など)	82人	64.1%
7. 環境(自然体験活動による交流など)	38人	29.7%
8. 防災(防災協定の締結や災害時の支援など)	46人	35.9%
9. 行政(職員や行政視察団の派遣、受入など)	34人	26.6%
10. その他	4人	3.1%
無回答	1人	0.8%
全体	545人	

**設問25:** 設問23で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。  
国内の都市との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数回答可)

1. 小学校、中学校など同世代間で交流できる機会を増やす	81人	63.3%
2. 姉妹・友好都市等が実施している事業やツアーに、区民が参加できる機会をつくる	72人	56.3%
3. スポーツやサークルなど地域住民主体の交流を、自治体間相互で結びつける仕組みをつくる	40人	31.3%
4. 姉妹・友好都市等の情報や物産を気軽に入手できる場所を設置する	75人	58.6%
5. 姉妹・友好都市等の特産品や工芸品などの地場産業を、相互で取引や販売できるような仕組みをつくる	56人	43.8%
6. 区民が姉妹・友好都市等の文化や歴史について学ぶ機会をつくる	40人	31.3%
7. 交流事業に関する情報を収集・発信する機能を充実し、区民などが気軽に参加しやすい環境づくりを進める	42人	32.8%
8. 災害時における相互応援体制を強化する	51人	39.8%
9. オンラインを活用し、上記1～8の内容等を含む様々な交流事業を充実させる	31人	24.2%
10. 民間交流(都市間で人や事業者をマッチングさせる取組など)	23人	18.0%
11. その他	5人	3.9%
無回答	2人	1.6%
<b>全体</b>	<b>518人</b>	

**設問26:** 設問23で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。  
海外姉妹都市等とどのような分野の交流が必要だと思いますか。(複数回答可)

1. 地域コミュニティ(子供同士や地域の住民と直接交流できる事業の実施など)	72人	56.3%
2. 教育(学校教育を目的とした交流など)	71人	55.5%
3. 文化(文化的なイベント等の開催や文化団体の派遣、受入など)	87人	68.0%
4. スポーツ(スポーツチームの派遣、受入など)	45人	35.2%
5. 産業(特産品販売等のイベント開催など)	59人	46.1%
6. 観光(観光誘客イベントの開催、観光ツアーの実施など)	78人	60.9%
7. 環境(自然体験活動による交流など)	34人	26.6%
8. 国際理解(海外の習慣や語学など国際理解を深める交流など)	66人	51.6%
9. 行政(職員や行政視察団の派遣、受入など)	22人	17.2%
10. その他	2人	1.6%
無回答	1人	0.8%
<b>全体</b>	<b>537人</b>	



**設問27:** 設問23で選択肢1「必要である」を選択した方にお伺いします。  
 海外姉妹都市等との交流では、どのような取り組みが必要だと思いますか。  
 (複数回答可)

1. 小学校、中学校などでグローバルな視点を養う交流ができる機会を増やす	90人	70.3%
2. 海外姉妹都市等が国内で実施する事業について、区民への情報提供を行う	67人	52.3%
3. 自治体相互で、スポーツやサークルなど同様の活動をしている団体を結びつける仕組みをつくる	48人	37.5%
4. 海外姉妹都市等の情報や物産を気軽に入手できる場所を設置する	72人	56.3%
5. 海外姉妹都市等の特産品や工芸品などの地場産業を、相互で取引や販売できるような仕組みをつくる	54人	42.2%
6. 講演会やパネル展など海外姉妹都市等の文化や歴史について学ぶ機会をつくる	42人	32.8%
7. コンサートや映画上映など海外姉妹都市等の魅力に触れる機会をつくる	63人	49.2%
8. ワークショップや料理教室など海外姉妹都市等の伝統や生活を体験できる機会をつくる	66人	51.6%
9. オンラインを活用し、上記1～8の内容等を含む様々な交流事業を充実させる	42人	32.8%
10. 海外姉妹都市等について、パンフレット、啓発物品、掲示物等で情報発信する機能を充実する	30人	23.4%
11. その他	3人	2.3%
<b>全体</b>	<b>577人</b>	

**設問28:** 「都市交流」について、ご意見等がありましたらご記入ください。

令和5年度 第4回  
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和6年2月  
台東区総務部広報課  
令和5年度登録第75号